

第4学年1組 学級活動(1) 学習指導案

平成29年10月27日(金)

指導者 多根陽子

場 所 4年1組教室

1 議題「2学期にがんばることの作戦を立てよう パート2

～しんじっ子広場での発表が成功するために、みんなで協力してできる練習のしかたを考えよう～

2 議題について

【子どもの実態】

… <個人情報保護のため省略> …

【議題選定の理由】

年度当初、昨年度の学級のよさや課題を振り返り、今年はどうな学級にしていきたいか話し合ったところ、「みんなで協力して楽しく勉強や生活ができる4-1」という学級目標が決まった。そしてそれを達成するためにどのような姿をめざすかを話し合い、以下の五つを行動目標とすることが決定された。(①集中する ②自分から大きな声で発表する ③話す人を見て反応しながら聞く ④やさしい行動で一人の人をなくす ⑤けんかをしない)

そして、1学期末の振り返りでは、集中力が足りないことが課題として上がった。そのため、2

学期はどのようなことに気をつければよいか話し合った結果、「手悪さやおしゃべりをしないで人の話を最後まで聞こう」というめあてを立ててがんばろうということになった。その後、1学期の取組の様子等を考え合わせて内容を整理し直し、行動目標を以下のように再設定した。

- ①集中して人の話を聞く
- ②自分から大きな声で発表する
- ③やさしい行動や言葉がけをする

2学期初めには、集中して話を聞くための具体的な取組について話し合い、班で仕事を分担して準備を進めた。めあてを教室前面に掲示して毎朝全員で声に出して確認したり、帰りの会でチェック表に自己評価をしてその日の取組はどうであったか振り返り、結果を記録していったりするなど、学級全員で取り組んだことにより、集中して話を聞けるようになってきた。この取組を通して、子どもたちは、自分たちで方法を決めて実践することに充実感を感じることができたようである。また、個人だけでなく学級全体の力を合わせて取り組むことによって問題が解決できることを実感し、係活動や学校行事の野外活動などでも、学級目標の「みんなで協力して」を意識して行動する姿が見られるようになった。そこで、目前となってきた「しんじっ子広場」(音楽会)でも、協力し合うよさを生かし、よりよい発表にするための取組を考えようということになり、議題を選定した。

#### 【指導にあたって】

<研究の視点との関連>

##### ①生活の問題に気づき、議題への意識を共有化するための工夫

- ・2学期前半の学級目標やめざす姿の振り返りアンケートをし、集計した結果をグラフ化して提示することで、達成度の現状を共通理解し、学級のよき・問題点に気づくようにする。
- ・学級会コーナーに、議題、提案理由、決まっていること、話し合うことなどを掲示して学級全体で確認することで、何を決めるのか明確にし、話し合いへの関心を高める。
- ・学級会カードに、自分の考えを記入させ、自分の考えをもちやすくする。

##### ②よりよい集団決定をするための工夫

- ・司会グループは、学級会カードに書かれた意見を事前に把握することで、話し合いの見通しがもてるようにする。学級会の手引きを活用して進行をすることで、自信をもって活動できるようにする。
- ・黒板書記は、意見を短冊に書いて話し合いの中で分類・整理しながら提示することで、思考を可視化し、考えを深めたり比べやすくしたりする。
- ・自分の意見と友だちの考えと比べて考えられるように、話し合いの仕方(賛成、反対、意見を変える等)や折り合いのつけ方などを意識させる。
- ・意見が出なかったり、話し合いがまとまらなかったりするときは、ペアや小グループで相談させるようにし、話し合いへの参加を促す。
- ・決定する際は、本当に実践できるか再度考えられるよう、時間をとる。

##### ③活動の見通しをもつための工夫

- ・学級会コーナーに計画、話し合い、実践までの流れの分かるスケジュール表や役割分担等を掲示することで、活動への意識を継続させ、自分たちの力で成し遂げようとする意欲を高める。

### 3 評価規準

集団活動や生活への関心・意欲・態度	集団の一員としての思考・判断・実践	集団生活や生活についての知識・理解
学級の生活上の問題に関心をもち、友だちと協力して意欲的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しい学級生活をつくるために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、協力し合って実践している。	みんなで楽しい学級生活をつくることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の計画的な進め方などについて理解している。

### 4 事前の活動

司会G：司会グループ

日時	児童の活動内容	対象	教師の支援 (○)	評価 (◎)
10/16 (月) 朝の会 帰りの会	○「手わるさやおしゃべりをしないで人の話を最後まで聞こう」について振り返る。  ○どんな発表にしたいか考える。	全員	○協力の大切さに着目できるように、「話を聞こう」の取組の成果を確認する。 ○音楽会での理想の姿を考えることで今後の取組への意欲を高める。	◎提案理由をふまえ、自分の意見や根拠を書いている。【関・意・態】(学級会カード)  ◎話し合いの流れをイメージしながら司会Gの準備をしている。【関・意・態】(観察)
10/17 (火) 休憩時間 放課後	○学級会の計画 ・議題、提案理由、話し合うことの決定 ・役割分担 ・計画表作り ・学級会コーナーの掲示物の準備	司会G	○担任が助言しながら一緒に今後の計画を立てる。	
10/18 (水) 帰りの会	○議題の発表と提案理由の説明 ○学級会コーナーの設置	司会G	○共通理解を図ることができるように、決定した議題を全員に知らせる。	
10/20 (金) 帰りの会	○学級会カードの記入	司会G 全員	○根拠をもって自分の意見を言えるように、理由も書くように声がけをする。	
10/24 (火) 25 (水) 放課後	○学級全体の意見の把握 ・意見を整理して短冊にまとめる。 ・話し合いの流れを確認する。	司会G	○話し合いの見通しがもてるように、全員の意見の概要を把握させる。 ○話し合いがスムーズに進むように、各役割の仕事や話し合いの進め方、板書の計画などを確認する。	

5 本時の活動

(1) ねらい

「しんじっ子広場」でよりよい発表をするために、みんなで協力してできる練習の仕方について決めることができる。

<つけたい力>

- ・理由を明確にして自分の意見を発表することができる。
- ・自分の考えと比べながら友だちの意見を聞くことができる。

(2) 展開

学習過程	学 習 活 動	指導上の留意点（教師の支援（○） 評価（◎））
出会う	<p>1 はじめの言葉</p> <p>2 先生の話</p> <p>3 司会グループの紹介</p> <p>4 議題、提案理由の確認  <u>議題の確認</u>          しんじっ子広場での発表が成功するために、みんなで協力してできる練習のしかたを考えよう  <u>提案理由の発表</u>          9月から、人の話を聞くために作戦を立ててみんなで取り組んできた結果、きちんとできるようになってきました。そこで、今度は、「しんじっ子広場」に向けて<u>みんなで協力して練習すれば、きっと発表がせいこう</u>できると思ったからです。</p> <p>5 決まっていることの確認  <u>決まっていること</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10/30～11/8の朝の会の中の7分間</li> <li>・4の1のみんなで</li> <li>・「木を植えよう」（歌とふりつけ）</li> </ul>	<p>○学級目標に近づくために協力して取り組んだ結果、集中して聞けるようになったことを想起させる。</p> <p>○今回は、音楽会での理想の姿をめざして練習することで学級目標に近づこうと話し、話し合いへの意欲を高める。</p> <p>○この時間に決定できる内容の範囲を押さえておく。</p> <p>○提案理由を意識した話し合いができるよう、話し合いの前に確認し、黒板に掲示する。</p> <p>○「手わるさやおしゃべりをしないで人の話を最後まで聞こう」の達成度のグラフを提示し、みんなで協力して取り組むことへの意欲づけを図る。</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">出し合う・くらべる・まとめる</p>	<p>6 話し合い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>話し合うこと 朝の会でどんな練習をするか。</p> </div> <p>&lt;どんなメンバーでやるか&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・班ごとに聞き合う。</li> <li>・いくつかの班同士で聞き合う。</li> <li>・隣同士で聞き合う。</li> <li>・学級全体で歌う。</li> </ul> <p>&lt;どのように練習するか&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルトの音を聞いてソプラノを歌う。</li> <li>・振り付けをしながら歌う。</li> <li>・上手な人が教える。</li> <li>・CD 当番がよいところをチェックして知らせる。</li> <li>・毎日めあてを変えながら練習する。</li> </ul> <p>7 決まったことの発表 書記が決まったことを読み上げる。</p>	<p>○スムーズに話し合いができるように、あらかじめ意見は短冊に書いておき、「くらべる」から始める。</p> <p>○出された意見は内容ごとに分類して掲示しておくことで、何についての話し合いが理解しやすくする。</p> <p>○友だちの意見のよい点や心配な点などを話し合い、よりよい意見に向かえるようにする。</p> <p>○理由や意見のよい点はピンク、心配な点は水色の短冊を使い、分かりやすくする。</p> <p>○なかなか意見が出ないときや、話し合いがまとまらないときは、ペアで相談するようにする。</p> <p>○似ているものをまとめるなど、折り合いをつけた意見も考えるよう助言する。</p> <p>○話し合ったことをいくつか決めるかは、司会がフロアの子どもに問いかける。</p> <p>○決定した事項について、司会がこれでよいか尋ねることで、全員が納得できる集団決定になるようにする。</p> <p>◎理由を明確にして発言したり、友だちの意見を受けて発言したりできる。【思・判・実】（発言、観察）</p> <p>○実践上の問題はないか再度確認させる。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">振り返る</p>	<p>8 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協力して練習できる方法が決まってよかった。</li> <li>・わたしは、班同士で協力する方法について発表できた。</li> <li>・〇〇さんの、アルトを聞きながらソプラノを歌うのはよい考えだと思った。</li> <li>・音楽会に向けて力を合わせてがんばりたい。</li> </ul> <p>9 先生の話</p> <p>10 終わりの言葉</p>	<p>○提案理由を振り返って自己評価できるようにするために、学級会カードに記入する。</p> <p>○提案理由を意識した意見、友だちの意見を大切にしたい意見、司会グループのよかった点などを認めるとともに、今後の活動への期待を話すことで、意欲がもてるようにする。</p>

## 6 事後の活動

日時	児童の活動内容	対象	教師の支援 (○)	評価 (◎)
10/30 (月) 休憩時間	○決まったことをまとめ、掲示する。	司会G	○決めたことがみんなに伝わるように分かりやすく書くよう助言する。	◎決まったことに協力しながら取り組んでいる。
10/30 (月) ～11/8 (水)	○決まったことを実践する。	全員	○意欲を高めるために、必要に応じて助言したり、協力している子どもを紹介したりする。	【思・判・実】(観察、振り返りカード)
11/8 (水)	○音楽会に取り組む。  ○活動を振り返る。	全員	○今までの取組を生かして自信をもって発表できるよう励ます。 ○次の活動に結びつけることができるように、自分や友だちのよさを認め合う。	

## 7 協議の視点

### ○議題選定について

この議題を選定したことは、協力し合ってよりよい生活をつくろうとする意欲を高めるのに有効であったか。

### ○話合いの手立ての工夫について

意見を整理・分類しながら短冊を活用して板書を構成したことは、よりよい集団決定をするのに有効であったか。